

## ○ 3ヶ月予報について（11月30日現在）

11月も終わりますが、この数日、宮崎市で最低気温が4～6と平年を下回る温度になっています。ようやく平年並みの気温になってきました。

11月25日に気象庁から3ヶ月の長期予報が発表されました。気象庁の定義では、12月から2月は冬の季節になります。この長期予報に基づき、この冬の傾向について解説します。

### 1 3ヶ月予報（九州南部地方）

#### （1）気温

	低い	並	高い
3ヶ月平均	40	30	30
12月	30	30	40
1月	40	40	20
2月	40	30	30

#### （2）降水量

	少ない	並	多い
3ヶ月平均	30	40	30
12月	20	40	40
1月	40	30	30
2月	40	30	30

\*表の見方は、農業試験場のHP「農業気象情報」で紹介しています。

### 2 3ヶ月予報の解説

（1）気温は3ヶ月平均で平年並かやや低い予想となっています。12月は、前半は平年並みかやや高い傾向ですが、10日過ぎから真冬の寒気が南下してくる見込みです。1月、2月は、寒気の影響を受けやすく、平年並みかやや低い気温（寒い冬）になる予想です。

（2）降水量は3ヶ月平均で平年並みの予想となっています。12月がやや多く、1月、2月は平年並みかやや少ない予想です。宮崎では冬型の天気図になりやすく、冬晴れの日が多いことを意味します。

### 3 地上気温の変化

11月は、上旬に一旦平年並みとなりましたが、中旬はやや高温傾向が見られました。下旬に入り、平年並みになりましたが、気温の乱高下が残る状態でした。

今後は、1日、6日に寒気が入り、平年を下回る日も出てきます。その後、10日過ぎから、寒気が南下しやすい傾向となり、気温が下がってくることになりそうです。そのため、8月以降最低気温が平年より3～4 高い傾向が続いてきましたが、11月下旬から落ち着いてきましたので、今後は最低気温も平年並かやや低い傾向になると予想しています。

### 4 今後の見通し

11月下旬の気温は平年並みかやや低く推移しましたが、12月中旬以降は北極振動が起こり、寒気が放出されるため、その寒気の1つが極東に向かう可能性が強くなってきました。

そのため、年末に向かって厳しい寒さが予想されます。師走寒波、クリスマス寒波、年末年始寒波などが過去にも襲来していますので、冬型天気図の動きや気温の変化に注意し、寒波が予想される場合は事前の対策をお願いします。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二（気象予報士）